

政務活動報告書

活動事項	県議会自由民主党会派視察
活動年月日	平成30年4月16-17日
場所	1. 島根県松江市役所 2. 松江オープンソースラボ 3. 島根原子力発電所
活動の相手方	・松江市役所：市担当職員、森協議長 ・オープンソースラボ：松江市産業経済部職員 ・島根原発：岩崎本部長、長谷川副本部長他
目的・内容 ・結果等	<p>1. 松江市役所 【目的】松江市の公共施設適正化計画(H28策定)の取組の説明を受ける。 【内容】松江市ではH25に作成した公共施設白書に基づき、独自の市有施設の個別評価を行っていた。 【結果(成果)等】 公共施設適正化計画を推進するに当たっては、地域毎の特性(課題等)に基づく調整の必要性を理解した。</p> <p>2. 松江オープンソースラボ 【目的】松江オープンソースラボを視察 【内容】「松江オープンソースラボ」は、松江市産業経済部の直営組織として「まつえ産業支援C」が運営し、プログラム言語「Ruby」の普及のため、小中校でのカリキュラム化、コンテストの開催、企業誘致、諸外国(インド等)との人材交流等、地域全体で取り組んでいる。 【結果(成果)等】 松江市がプログラム言語「Ruby」の普及を地方創生の手段の1つとして活用していることが理解できた。</p> <p>3. 島根原子力発電所 【目的】島根原発の現状を確認 【内容】新規制基準に適合させるために新たに建設された運転前の3号機の耐震棟の安全性についての説明を受けるとともに、その内部を見学した。 【結果(成果)等】 3号機が新規制基準に適合していることを理解した。</p>
関連領収書番号	190331A

政務活動報告書

活動事項	農業分野における高齢者就労の実態調査
活動年月日	平成30年4月21日
場所	埼玉県上尾市「農業法人ナカホリ」
活動の相手方	永堀社長
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 「農業法人ナカホリ」における高齢者就労の実態を視察し、今後の鳥取県内での取り組みの参考とする。</p> <p>【内容】 「農業法人ナカホリ」は、平成21年度の農水省交付金を活用して設備(集出荷場、冷凍設備等)の拡充を行い、生産品目を小松菜中心から枝豆、ホウレンソウ、ブロッコリー等多品種に広げた。 また、高齢者の就労に関しては、100名程度のパート従業員の大半が高齢者であり、就労時間を従業員自身の希望に基づいて全社で調整しながら自主的に運営している。</p> <p>【結果(成果)等】 少子高齢化が進む当県においても、高齢者の活用及び働き方改革は喫緊の課題でもあり、「農業法人ナカホリ」の就労形態は高齢者就労だけではなく、全年代の働き方を考える上で、ベンチマークすべき1つと考える。</p>
関連領収書番号	180421A~C

政務活動報告書

活動事項	「政府に今年中の全被害者救出を再度求める国民大集合」参加
活動年月日	平成30年4月22日
場所	東京都千代田区 砂防会館別館1F「シェーンパッパ・サボー」
活動の相手方	家族会、救う会、拉致議連、知事の会、地方議会全国協議会
目的・内容・結果等	<p>【目的】 国際社会が昨年、北朝鮮に対する3度の制裁強化を決議したこのタイミングで開催される「政府に今年中の全被害者救出を再度求める国民大集合」に参加することで、拉致被害者を抱える本県内の機運をさらに高めると共に、全拉致被害者の早期帰国を実現するための対策を検討する。</p> <p>【内容】 家族会代表(飯塚繁雄)、拉致議連会長(古屋圭司)、総理大臣(安倍晋三)、各党対策本部長、知事の会会長(上田清司)、地方議会全国協議会会長(松田良昭)、救う会会長(西岡力)他の挨拶・訴え、及び</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 全拉致被害者の返還の実質協議に応ぜよ。 ② 政府は、全拉致被害者の即時一括帰国を実現し、安全確保と保護の準備をせよ。 ③ 国民はブルーリボンを身に付け意思を示すとともに、アニメ「めぐみ」の学校上映等啓発活動を続けよう。 <p>との3項目を決議した。</p> <p>【結果(成果)等】 今後県内においても決議3項目を訴え、全拉致被害者の早期帰国を実現させたい。</p>
関連領収書番号	180421A～C、190331A

政務活動報告書

活動事項	県議会自由民主党会派視察
活動年月日	平成30年9月6、7日
場所	1. 岐阜郡上市和良町 2. 岐阜県各務原市
活動の相手方	1. 岐阜県鳥獣被害対策広域指導員 酒井氏 2. 今井航空機器工業(株)本社 今井社長他
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 岐阜郡上市和良町宮地集落の鳥獣被害対策を勉強する。 2. 航空産業の現状及び将来性について見識を得る。 <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宮地集落における鳥獣被害対策(①皆で②囲って③除いて④追い払って⑤捕って⑥食べて)の実践活動(合言葉「平成の集楽活動」)の説明を受ける。 2. 今井航空機器工業(株)の工場で、航空機器の製造過程を視察。 また、製造管理には過去の事故を教訓としていることの説明を受ける。 <p>【結果(成果)等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「平成の集楽活動」は、本件の鳥獣被害対策の参考となる事例と考える。 2. 航空機産業の県内誘致に際しては多くの課題があることを認識させられるとともに、将来性を確信できた。
関連領収書番号	190331A